

宮崎酪農からのメッセージ

— 口蹄疫の脅威を伝える —

— 見えない敵との戦い —



J A 宮崎経済連
酪農飼料部
大村賢太郎

～口蹄疫発生からの対応～

4月20日

1. 早朝、緊急会議の実施
2. JA宮崎経済連防疫対策本部設置
3. 消毒ポイント確認、集乳ルートの状況把握と確認
4. 高鍋集乳事業所：家畜保健衛生所から口蹄疫感染の疑い発生の説明
5. 高鍋集乳事業所：酪農ヘルパー組合長、牛群検定組合長、酪農協議会長、農協担当者と対応協議
6. 酪農ヘルパー・牛群検定の業務自粛

J A 宮崎経済連酪農課

高鍋集乳事業所

- 管内JA : 延岡・尾鈴・児湯・西都・宮崎酪農・宮崎中央・綾町
- 酪農家戸数 : 67戸(県内20%)(他学校3校)
- 生乳生産量 : 18,000トﾝ/年(県内20%、90,000トﾝ)
- 酪農ヘルパー加入率 : 74.6%
- 牛群検定加入率 : 85.1%

宮崎中央地区第一酪農
ヘルパー利用組合

組合員	50戸
役員	7名
専任要員	3名
臨時要員	8名

宮崎県中北地区乳用
牛群改良検定組合

組合員	57戸
役員	9名
専任検定員	3名

～口蹄疫発生からの対応～

4月21日

1. 毎朝6時、集乳担当者・検査担当者のミーティング開始
2. 集乳路線調整、状況報告、消毒徹底確認
3. 集乳車の消毒強化
4. ヘルパー要員・検定員の合同会議開催
5. 事業所消毒班体制(ヘルパー要員・検定員等)を決定
6. CS入口の自主消毒ポイント設営

～CS 入口での消毒状況～



～口蹄疫発生からの対応～

4月24日～

1. 霧島集乳事業所の消毒体制を強化。
(自主ポイントを設営、全車動力噴霧機による消毒。)
2. 高鍋集乳事業所、集乳時のブーツカバー対応。
3. 蔓延防止のため集乳車の随行消毒を県と協議。

25日：軽トラック消毒班体制の準備
(軽トラック、動力噴霧機の確保)

26日：消毒機器を串間CSへ設置する。
(動力噴霧機及び消毒資材配布する。)

集乳における防疫状況

～軽トラック隊による消毒状況～

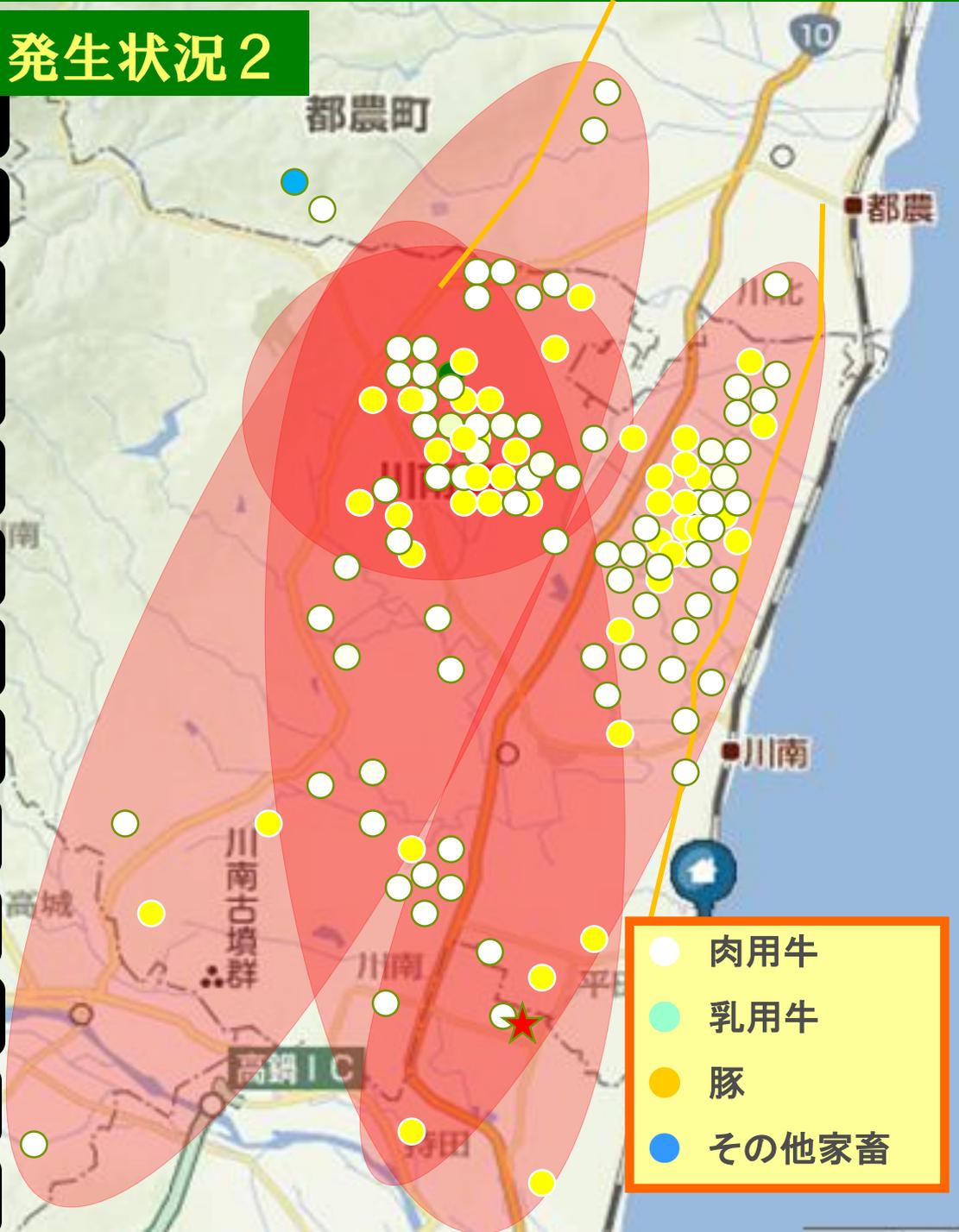


宮崎県内における口蹄疫の発生状況 2

感染多発期	
4月28日	5月18日
	5月17日
	5月16日
	5月1日

● えびの市で発生確認
 ● 初めて豚への感染確認
 ● 高鍋町、新富町で発生確認
 ● 自衛隊に災害派遣要請
 ● 県畜産試験場
 ★ 口蹄疫非常事態を宣言
 ● 国の現地对策本部（県庁内）の設置

- 5月 5日: 2
- 5月 6日: 12
- 5月 7日: 8
- 5月 8日: 6
- 5月 9日: 7
- 5月10日: 11
- 5月11日: 3
- 5月12日: 5
- 5月13日: 9
- 5月14日: 6
- 5月15日: 9
- 5月16日: 10
- 5月17日: 14



●	肉用牛
●	乳用牛
●	豚
●	その他家畜

宮崎県内における口蹄疫の発生状況 3

感 染 拡 大 期

5 月 21 日	5 月 22 日	6 月 9 日	6 月 10 日	6 月 16 日
-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------

- 国富町で発生確認
- 日向市、宮崎市で発生確認
- 都城市高崎町で発生確認
- ・ ワクチン接種開始
(3市5町)
- ・ ワクチン接種の受入決定
- 木城町、西都市で発生確認



集乳における防疫状況

～ワクチン接種による生乳廃棄～



酪農家さんからの悲痛な叫び

～見えない敵への怒り・恐怖～

- どうにかしろ！
- 毎日何回も何回も、消毒しているのに、なぜウチに・・・？
- 何で、罪のない牛を殺さなければいけないのか？
- 今、どこに発生したのか？教えてろ！
- 怖くて、夜も眠れない。どうにかしてくれ！
- 隣に来た。次はウチか・・・。
- 埋却地が決まらない。さがしてくれ！
- 明日、殺処分だ。一緒に埋めてくれ！
- もう、疲れた・・・。
- ……。

人の心をむしばんだ！

牛舎にて牛の保定作業



殺処分



埋却地への搬出



埋却作業



埋却地



消毒作業



高鍋集乳事業所管内状況

- 被災JA : 延岡・尾鈴・児湯・西都・宮崎酪農
- 被災戸数 : 51戸/67戸
- 損失生産量 : 15,000トン/18,000トン(県内16%)
- 酪農ヘルパー組合員被災戸数 : 41戸/50戸
- 牛群検定組合員被災戸数 : 44戸/57戸
- 高鍋集乳事業所の業務停止

酪農ヘルパーの状況

～ 被災地域 ～

- 業務休止：4月22日～
 - ※防疫作業の実施（CS出入口、軽トラック消毒班）
- 業務休業：7月1日～
 - ※専任要員、短期アルバイト等にて対応
 - ※中小企業緊急雇用安定助成金を申請
- 業務再開：9月4日～ 専任1名対応
 - ※組合員9戸の再開（被災農家以外）
- H24年：40戸の申込 専任2名、臨時での対応
- 今後の組合運営について要検討
 - ※再建には時間を要する
 - ※運営資金に限度がある

宮崎県内における口蹄疫の発生状況4

終 息 期

6月24日	6月30日	7月1日	7月4日	7月12日	7月18日	7月27日	8月6日	8月27日
-------	-------	------	------	-------	-------	-------	------	-------

- ★口蹄疫終息宣言
- 農場内ふん尿等の安全性確認を終了
- 全ての牛豚飼養農家の清浄性確認検査を終了
- ★口蹄疫非常事態宣言を解除
- 県内全ての制限区域を解除
- 児湯地域の全域で制限区域を解除
- ・消毒ポイント設置箇所が最多
- 最終発生確認（宮崎市）
- ★口蹄疫非常事態宣言の一部解除
- ・ワクチン接種家畜の措置終了
- （後発の宮崎市を除く）
- ・疑似患畜の措置終了



口蹄疫の影響

● 処分頭数

区分	市町数	農場数 (酪農家)	頭数 (乳牛頭数)
疑似患畜	5市6町	292戸 (19戸)	220,000頭 (1,100頭)
ワクチン 接種	3市5町	1,012戸 (32戸)	78,000頭 (1,400頭)
合計	5市6町	1,304戸 (51戸)	298,000頭 (2,500頭)

【内訳】

- 牛 69,454頭 (県内飼養頭数の約22%)
(内、乳牛 2,500頭 県内飼養頭数の約17%)
- 豚 227,949頭 (県内飼養頭数の約24%)
- その他 405頭
- 297,808頭

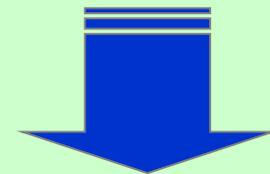
● 県経済への影響

○畜産出荷額 約825億円

○畜産関連産業 約478億円

○食肉関連産業 約89億円

○商工関連産業 約950億円



総計 約2,350億円

防疫作業等への支援

国職員(独法含む)	約	14,500人
自衛隊員	約	18,500人
県内外警察官	約	38,000人
他都道府県職員	約	5,000人
J A等団体職員	約	16,500人
市町村職員	約	18,000人
宮崎県職員	約	48,000人
合 計		約158,500人



酪農再建へ！

乳牛処分頭数 約2,500頭

(内経産牛 約1,900頭) (県内飼養頭数の約17%)

36戸 / 51戸 再開予定

酪農再建へ！

被災農家の要望との調整

- ① 疾病問題
- ② 時期（再開時期）
- ③ 頭数（単月）
- ④ 予定金額
- ⑤ 集乳開始予定
- ⑥ 腹
- ⑦ その他

【POINT】
再開予定農家の要望に
どれだけ近づけて導入
できるか。

導入先の選定と調整

- ① 導入先（海外or北海道）
- ② 疾病問題
- ③ 時期（再開時期）
- ④ 頭数（単月）
- ⑤ 予定金額
- ⑥ 集乳開始予定
- ⑦ 腹

【POINT】
市場価格への影響を極力与えない方法。
基礎牛となるためしっかりと
した牛を導入する。

酪農家と担当者の
連携が重要！

全国連との
連携が重要！

わが家へ再び乳牛が！

笑顔が・・・！



がんばるゾ！

✓導入済頭数 …… 1,600頭／2,500頭
(64%) ■ ※平成24年5月

酪農再建へ！

被災農家の要望との調整

- ①分娩頭数の把握
- ②分娩時期の把握
- ③バルククーラー容量の確認
- ④品質管理の確認
- ⑤集乳路線の調整
- ⑥生乳の検査
- ⑦生乳の出荷

【POINT】
再開予定農家の
要望にどれだけ
近づけて生乳出
荷できるか。



酪農家と担当者の連携が重要！

歓びの生乳出荷！

笑顔が・・・！



がんばるゾ！

- 再建農家 37戸／51戸 ■ (73%)
- 集乳再開農家 37戸／37戸 ■ (100%)

■ ※平成24年5月22日 37戸目の集乳再開 ■ ※令和3年12月31日 24戸が酪農継続中

口蹄疫発生 突然の大惨事

- 農場の防疫対策や消毒資材の確保
- 飼料の確保と供給
- 集乳ルート確保
- 消毒ポイントの確認・支援
- 埋却地の確保
- 早急な防疫(殺処分・埋却)対応の支援
- 殺処分家畜の補償対応
- 経営再建に向けた対策対応
- その他・・・

追悼のことば (抜粋)

あなたたちの居なくなった空っぽの畜舎の中を見渡すと、安らかに眠ってくれているだろうかと案じています。私たちの生活のために日夜懸命に働いてくれ、常に心の支えになっていた牛さん豚さんたち。目に見えないウイルスとは言ったものの、おびえるあなたたちを守ってやる事が出来なかった事が悔しくてなりません。

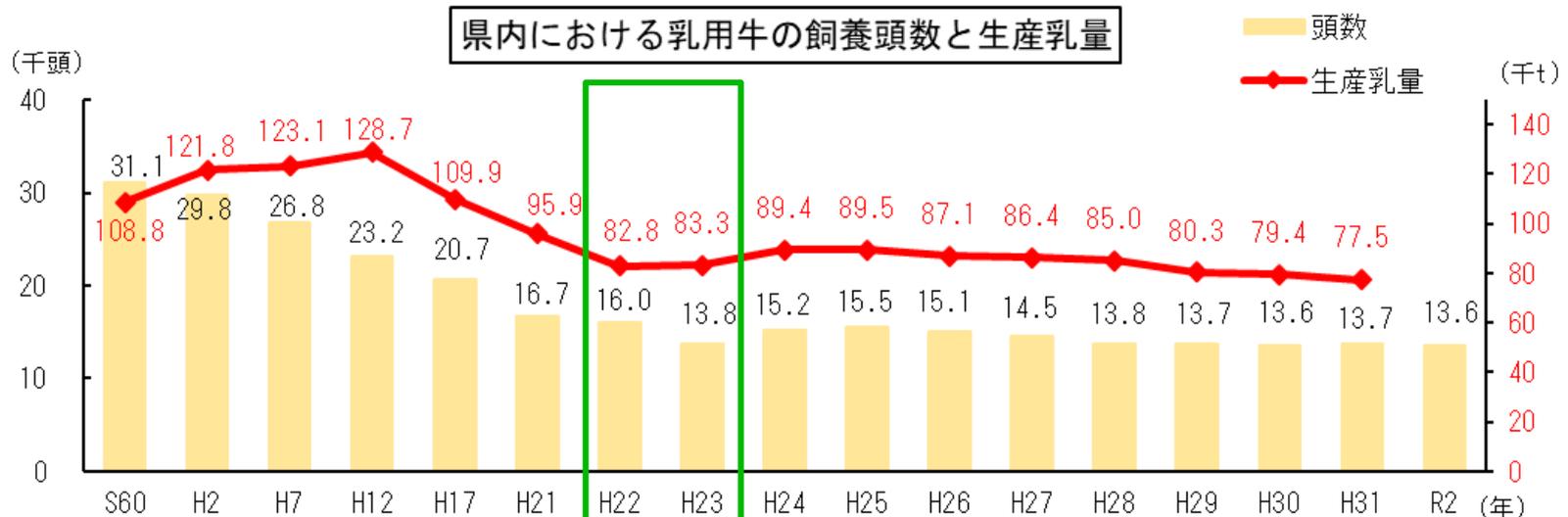
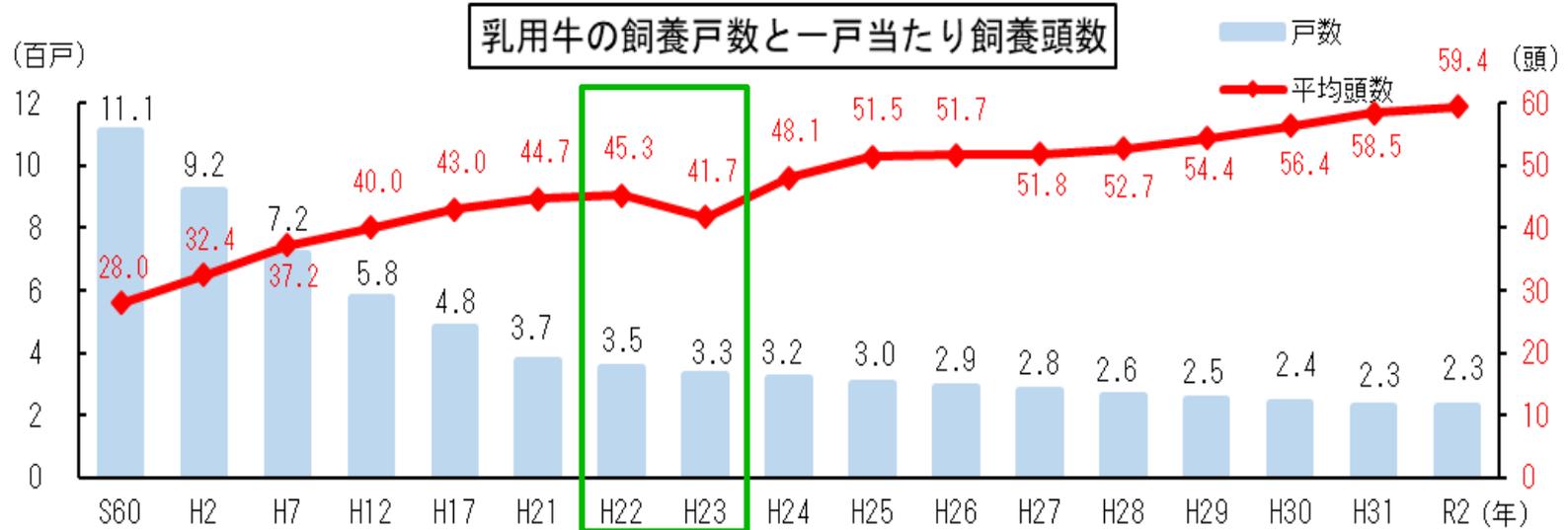
お腹に子供を抱えたまま産ませることも叶わずに、お母さんのおっぱいを飲むことも許されず、それでも私たちを支えてくれた牛さんや豚さんは黙って静かに受け入れてくれました。

ごめんね！そして今までありがとう！無念な思いで死んでいった牛さんや豚さんの為にも二度とあってはならないことです。今回の口蹄疫をしっかりと受け止め、ゼロからのスタートを重要な節目とし、みんなで再び畜産を育み、命のリレーをつないで行く事を約束し追悼のことばと致します。

どうぞ安らかにお眠りください。

平成22年8月28日

宮崎県の乳用牛飼養状況



口蹄疫防疫への決意

「宮崎県から他県には絶対、まん延させない」との強い思いで、関係者一丸となって取り組んだ。

犠牲と影響

殺処分頭数：297,808頭

県内経済への影響 約2,350億円

口蹄疫の発生で、畜産業への影響に留まらず、観光、商工業、学校行事、公共機関など地域全般に与える影響が甚大である。

再生・復興への決意

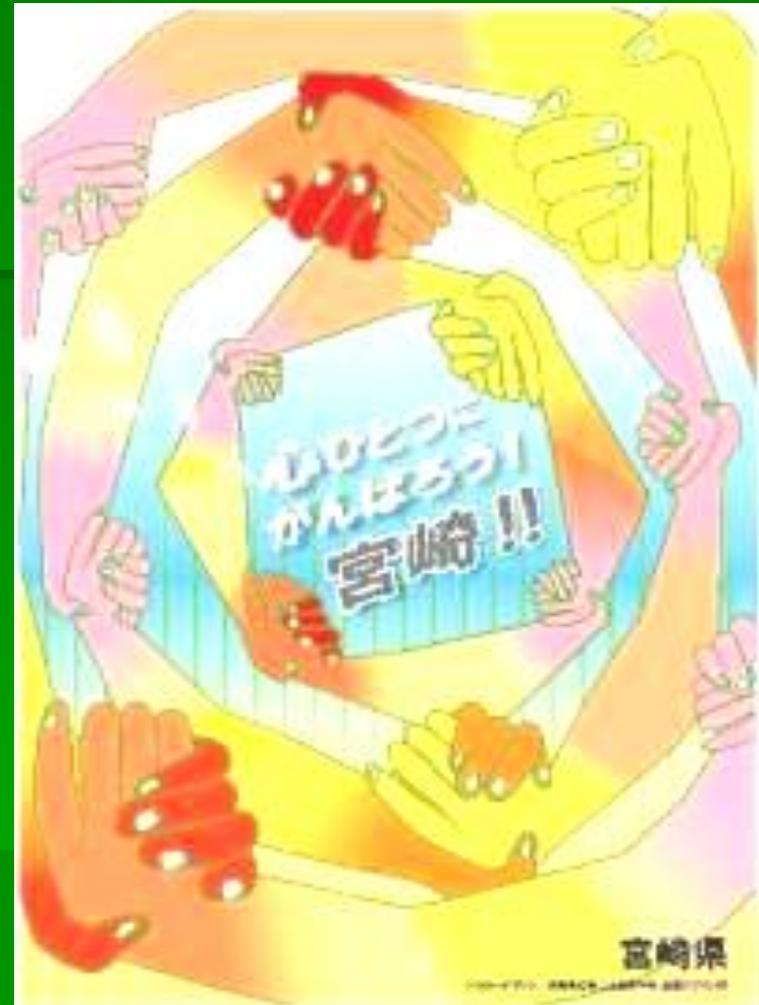
県民総力戦で

○ 元気な宮崎の畜産 → 再生

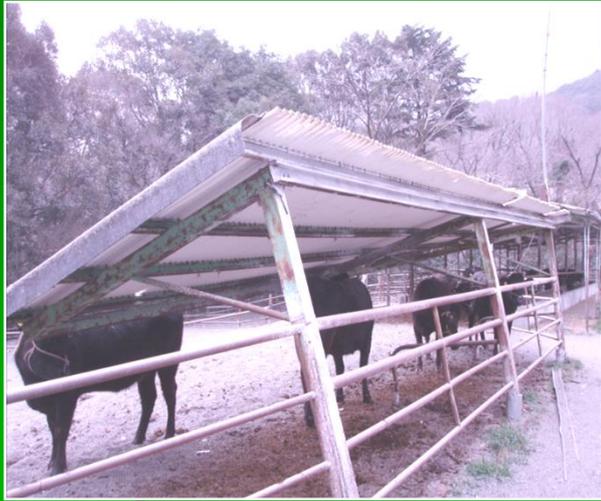
○ 元気な地域 → 復興



全国からご支援を頂いた皆様への感謝の気持ち！

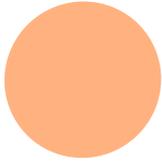


新燃岳噴火状況

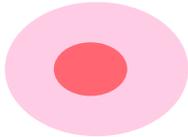


宮崎県の状況

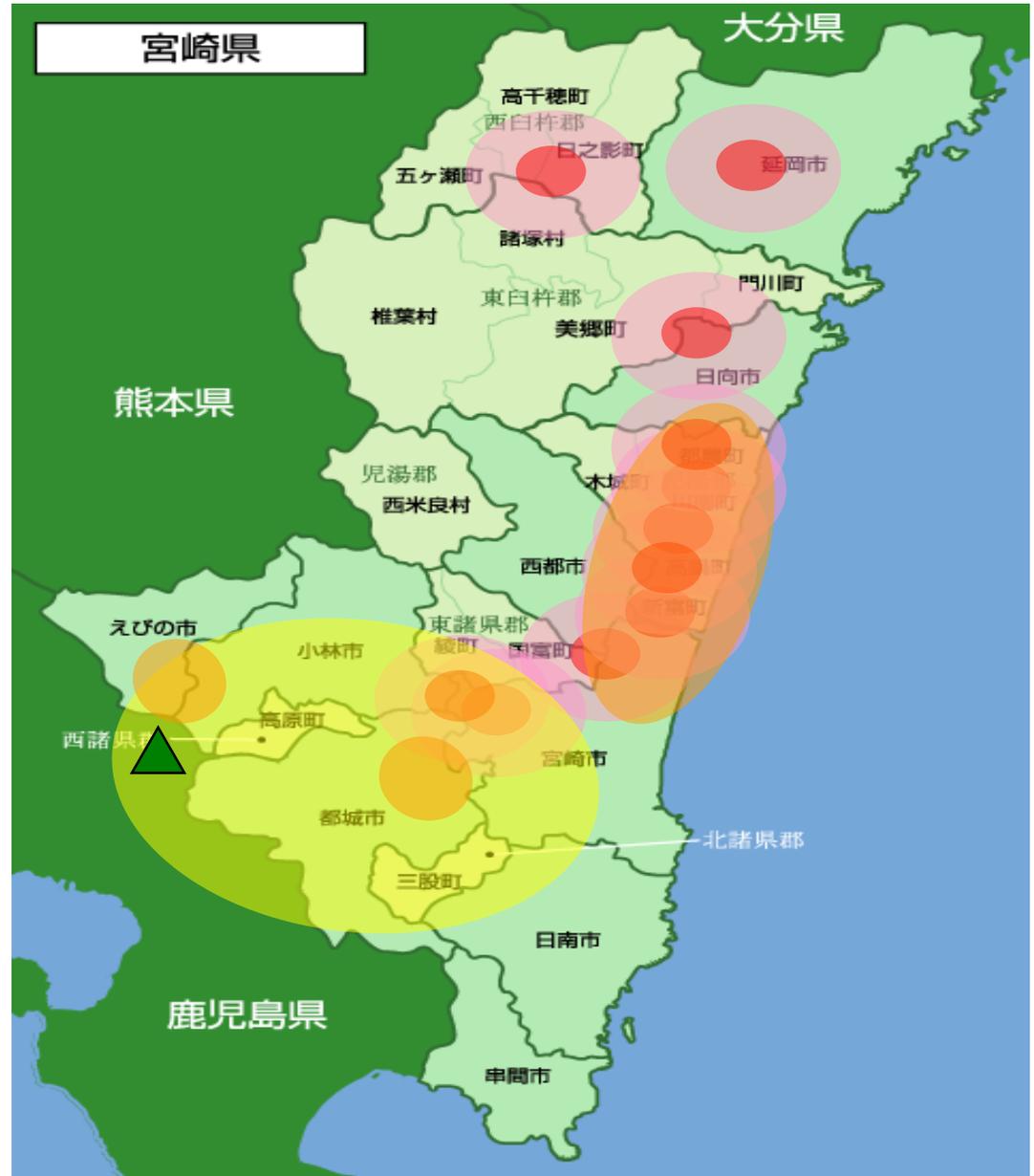
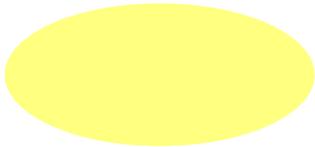
口蹄疫



鳥インフルエンザ



新燃岳からの影響



毎月20日は県内一斉消毒の日

— 地域防疫の重要性を確認 —



全国のみな様から、多くのご支援
いただきました。感謝いたします。



ご静聴ありがとうございました。

